

「いまどきの学校図書館事情」

石川県立志賀高等学校 司書 竹原 裕子

本校は、平成21年4月に県立高浜高等学校と県立富来高等学校が統合してできた全日制の学校です。校舎は高浜高校の建物を利用しているため新しくはないですが、昔からそこにある学校として、町の人たちに可愛がっていただいております。全校生徒数は129名と小規模ではありませんが、丁寧な個別指導に定評があり、文武共に実績を上げています。

図書室は教室棟2階の南側にあります。窓も多く日中はとても明るいので、自然と生徒たちは集まります。図書室入ってすぐの棚には司書のおすすめコーナーがあります。新聞の書評や地域の書店の売り上げランキング、最近ではSNSでの評判などを参考にして、気になる本を見つけ出し、まずは自分が読んだうえで「ひとことPOP」を添えておすすめを展示しています。なかなか読む時間が取れず、本の入れ替えが滞ると「これ以外におすすめありますか？」と、指摘されることもしばしばで、このような何気ない会話の中に、図書室をよりよくするためのヒントが与えられていることを痛感します。

本校の教育目標の一つに「自己の言動に責任を持ち、自主性を培い、知性と教養を身につけた、心身ともに健全でたくましい人間を育成する」という一文があります。

本校の一大イベントである『「私の一冊」総選挙』は、書評活動を通して読書の魅力について理解を深めるとともに生徒のコミュニケーション能力を高め、図書室利用の活性化に資することを目的としています。平成26年から始まり、今年で7回目を迎えます(今年は10月30日開催予定)。

図書委員会が主体となって準備から本番に向けて活動します。全校生徒が参加するしくみになっており「ぜひ、他の人にも読んでもらいたい一冊」を取り上げ、クラス内で予選会を実施し全員が発表します。審査も生徒で行いクラス代表を決定します。各クラスの代表者は文化祭での本選に出場し特設ステージで発表します。

この原稿を書いている時期はクラスの予選会に向けて意識し始めるときで「全員発表するんですか～？いやだなあ～」という生徒もいれば、「今年は本選会で1位を取ります！打倒〇〇！」と意気込む生徒もいるほど、生徒たちにとっては恒例の行事になっています。

代表者になると、本選会までに発表内容を精査しPowerPointや音響、パフォーマンス等の演出を練り上げていきます。一人では難しいと感じる場面ではクラスの図書委員や先生が協力していただき、楽しんで本選会に挑めるように、司書はサポートに努めています。本の魅力を伝えるために学校が全力で取り組んでいるイベントです。

最後になりますが、私はこの4月から新採用で志賀高校に着任しました。実務経験の浅い私が、原稿執筆の依頼を受けたのは、これまでに志賀高校の図書室をよりよくするために活動されてきた歴代の司書さんの思いを繋いでいく必要があると感じたからです。このイベントを実践していくためには、教育目標にあるように、自己の言動に責任を持ち、自主性を培うということが重要になってきます。私自身が責任を持つということをしっかりと受け止め、生徒たちと関わっていくことが大切だと実感しています。コロナ禍で大変なことが多い年になりましたが、今年も『「私の一冊」総選挙』が無事に開催されることを願って、楽しいイベントになるようにサポートしていきたいと思っております。



司書のおすすめ



司書のおすすめ「ひとことPOP」



私の一冊総選挙に向けて図書委員への説明会



クラス予選会



本選会



みんなの木（全校生徒の「私の一冊」が集合）